

松前町「ホッケーのまちづくり」について

松前町教育委員会 社会教育課

1 はじめに

松前町では、「愛顔つなぐえひめ国体」の開催により、町民のホッケー競技への関心は大きく高まった。これを、一過性のブームにせず、「ホッケーのまちづくり」を普及促進して行くため、ホッケー公園を拠点とし、中学生をターゲットにした交流大会の開催や、関西圏域の大学ホッケーチーム、東京オリンピックに向けて強化を図っているホッケー男子日本代表「サムライジャパン」等に直接交渉し、ホッケー場を利用してもらえるよう誘致活動を行っている。

また、町の将来を担う高校生等が異文化社会に対する理解と友好を深め、国際感覚を身につけるため、豪州クラブチームとのホッケーによる国際交流事業を行い、競技力向上と本町の魅力を発信している。



松前町国体記念ホッケー公園ホッケー場

2 事業の内容

(1) 関西圏域大学ホッケーチームによるキャンプ誘致

【実施日】：令和元年8月26日（月）から29日（木）までの4日間

キャンプ期間中、ホッケー場での練習の他、伊予高等学校ホッケー部との交流試合を実施した。大学ホッケーのレベル高さを感じ、今後の競技力向上に活かした。

また、来年度以降も同時期にキャンプ実施の意向も伺えた。



神戸大学男子ホッケー部集合写真



松前町長から歓迎の挨拶

(2) ホッケー教室・ホッケーイベントの実施

① 東京ヴェルディ女子ホッケーチームによるホッケー教室

【実施日】：令和元年10月13日（日）参加者：120名

② 南都銀行 SHOOTING STARS によるホッケーイベント

【実施日】：令和2年1月25日（土）参加者：110名

参加者については、町内小・中学校及び県内高校ホッケー部を対象としている。



東京ヴェルディ ホッケー教室



南都銀行 ホッケーイベント

3 現状

ホッケー普及事業を実施するにあたり、参加者が100名を超える事業となり、ホッケー未経験者の参加者数も伸びてきている。

町内広報紙での啓発や、町ホームページ及びSNSでの告知を用いて、町内外にも情報を発信している事が功を奏している。また、講師を知名度のある国内強豪チームや日本代表候補選手等に依頼することにより、参加者をはじめ町民の方がホッケー場を訪れる機会も増えており、競技普及と参加者増加に繋がっている。

4 課題

ホッケー場の利用者は、年間のべ約1万人（平成30年度集計）が利用している。多くの利用者が利用する中で付帯施設「管理棟」等の施設が不十分である。財政状況の厳しい中、利用者が集い易い施設にするために、今後有益な補助金を活用し、施設の充実性を図っていきたい。

5 今後

小・中学生のジュニア世代をターゲットにした「中学生ホッケー交流大会・まさきカップ」を3月14日（土）・15日（日）に行う予定である。中四国九州及び関西圏域の中学生を集結し、競技力向上と交流を深める事を目的とした事業を予定している。

また、「2020東京オリンピック」を控え、ホッケー男子日本代表「サムライジャパン」がホッケー場で強化合宿を行った。強化合宿期間中は、ホッケー教室や町内小中学校に学校訪問をする等、憧れのオリンピック選手との交流もでき、子どもたちも喜んでいた。大会期間中には日本代表戦でのパブリックビューイングを予定しており、東京オリンピックに向けた機運醸成を図っている。